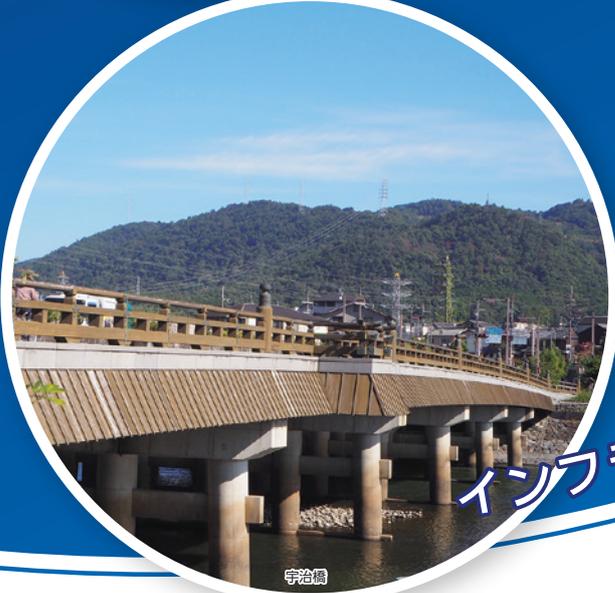
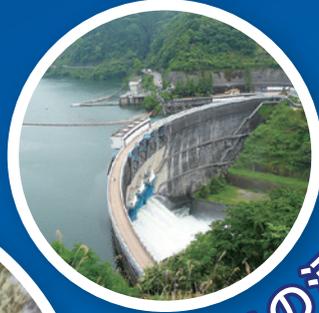




京都府宇治市「天ヶ瀬ダム」 魅力増プロジェクト



インフラツーリズムによる新しい京都観光の活性化



インフラツーリズムとは。

ダム、橋、トンネルなどのインフラストラクチャー（インフラ）への理解を深めていただくため、普段訪れることのできない内部や、今しかみることのできない日々変化する工事風景などの「非日常」を経験するツアーを展開することにより、地域に人を呼び込み、地域が活性化することを目指しています。

各地の観光資源をこのインフラツアーとつなげて、新たな観光周遊ルートとしてのインフラツーリズムの造成を始めています。同時にこれまでのインフラ施設の見学をより楽しく、わかりやすくすることで、観光資源としての価値を地域の皆様とともに作ってまいります。

この「非日常」を体験するため、インフラツーリズムの世界に足を踏み入れてみませんか？

様々な工夫を取り入れ、
インフラ施設の
魅力発信に
奮闘中！

天ヶ瀬ダムでは、 「次世代型インフラツーリズム」に チャレンジしています

天ヶ瀬ダムは国土交通省の「インフラツーリズム魅力増進プロジェクト」のモデル地区に指定され、全国に先駆けて次世代型インフラツーリズムのあり方を研究しています。



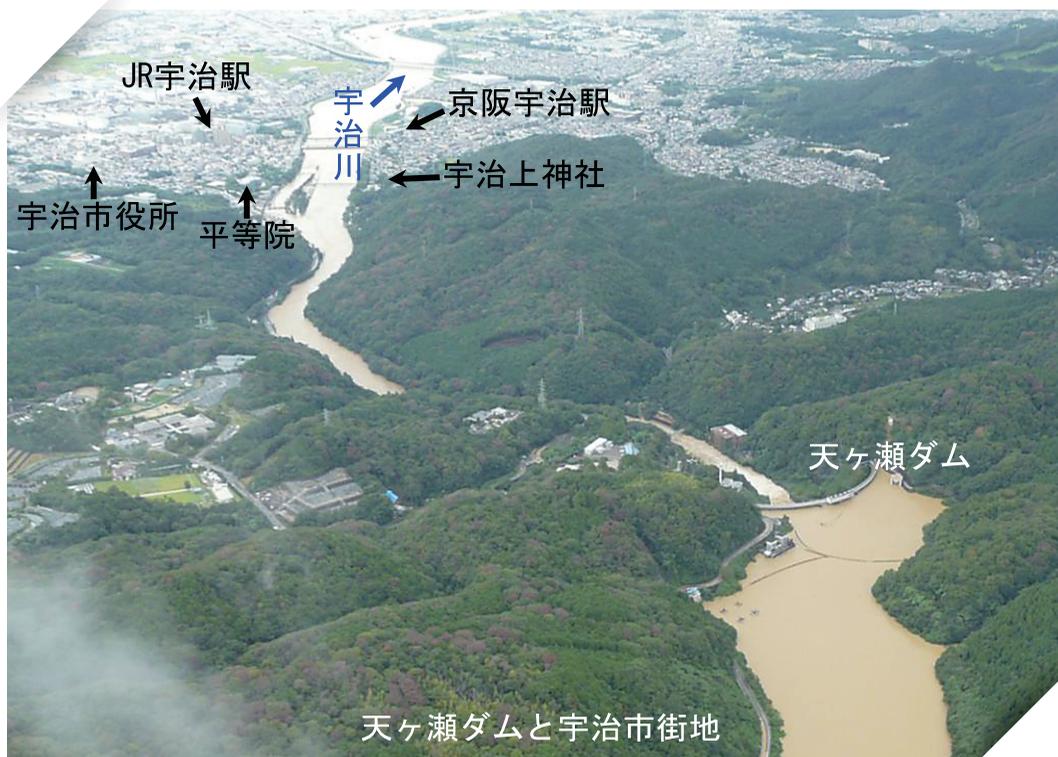
団体向け

- 1 学生を対象とした社会見学
- 2 クラブツーリズムとタイアップしたダム特別見学

「市街地に近いダム」天ヶ瀬ダム

天ヶ瀬ダムは全国的にも珍しい市街地に近いダムであり、下流の宇治川沿いには「平等院」、「宇治上神社」という2つの世界遺産があります。一方で、天ヶ瀬ダム湖（鳳凰湖*）は野鳥の生息地であり、ダムの周辺は桜や紅葉の名所となるなど、自然豊かな立地でもあります。

鳳凰湖：天ヶ瀬ダム湖が世界遺産の「平等院（鳳凰堂）」の近隣に位置し、なおかつ上空から見た姿が羽を広げた鳳凰に見えることから、「鳳凰湖」と呼ばれています。



平成25年9月の台風18号時の貯留状況

宇治川周辺注目スポット

宇治橋 1

うじばし

日本三古橋のひとつ

646年に架けられたと伝えられ、現在の橋は1996年3月に完成したものです。

上流側に張り出した「三の間」は、守護神「橋姫」を祀った名残りとして残っています。

「三の間」は豊臣秀吉が茶の湯に使う水を汲ませたところとも言われています。毎年開催される茶まつりでは「名水汲み上げの儀」も執り行われます。

宇治川上流には約2000本の桜が咲き、宇治橋からの眺めも絶景です。



宇治橋

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治東内
TEL：0774-23-3334 (宇治市観光センター)

天ヶ瀬吊り橋 2

あまがせつりばし

宇治川に架かる吊り橋

1942年に架橋され、その11年後に1度流失した後、1996年に、現在の姿へと全面改修され、2020年5月にリニューアルされました。

幅員は2メートル強、長さは約54メートル。両岸のアンカーを結ぶ太いワイヤーロープで支えられ、欄干や歩道部はすべて木製で、景観に溶け込んでいます。歩行者専用橋として渡橋でき、ハイキングコースにもおすすめ。

天然木ならではの手触りや香りもお楽しみいただけます。



天ヶ瀬吊り橋

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治
TEL：0774-22-3141 (宇治市役所)

京都府立宇治公園 3

きょうとふりつうじこうえん

四季折々の宇治川の絶景

宇治川の中流に浮かぶ塔の島・橘島と、宇治川の左岸にあるよりみち公園からなる宇治公園。宇治川の川岸と塔の島、橘島はそれぞれ喜撰橋、橘橋、朝霧橋、中島橋で結ばれて回遊できるようになっており、観光客をはじめ周辺地域の人々の休息、散策の場所として親しまれてきました。春には「宇治川さくらまつり」の舞台にもなっています。



京都府立宇治公園

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治塔川
TEL：0774-22-3141 (宇治市役所)

宇治川サクラプロジェクト

うじがわさくらぷろじえくと

市民とともに守り育てるサクラ

世界遺産に登録された平等院や宇治上神社をはじめ、市内の茶園や街並み、宇治橋から上流の宇治川を含めた景観は、2009年2月に都市域としては初めて国の重要文化的景観に指定されました。現在もこの地域は、国内外から多くの観光客が訪れる名所となっています。2013年から宇治橋上流の宇治川両岸において、サクラの植樹を実施しています。サクラを市民の皆さまとともに植樹し、さらに守り育てることで、歴史遺産を含めたこの地域の素晴らしい景観を次世代に受け継いでいきます。



イメージCG提供：宇治市観光協会

問い合わせ先

TEL：0774-23-3353 (宇治市観光協会)

橋寺(放生院) 4

はしでら(ほうじょういん)

宇治橋の守り寺

聖徳太子の命で604年に創建されたと伝えられ、宇治橋と深く関わってきたことから「橋寺」の名で親しまれています。境内には宇治橋架橋の由来を記した「宇治橋断碑」という石碑があります。

料金：本堂500円、宇治橋断碑300円 (※見学要問合せ)



橋寺(放生院)

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治東内11
TEL：0774-21-2662

十三重石塔 5

じゅうさんじゅうせきとう

日本最大の石塔

高さ約15メートルの日本最大の石塔で、1286年に西大寺の僧叡尊により建立されました。宇治橋の流出を魚霊のたたりと考えた叡尊は、網代や漁具を埋めた上にこの石塔を建立し、魚霊の供養と宇治橋の安全を祈りました。



十三重石塔

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治塔川
TEL：0774-23-3334 (宇治市観光センター)

宇治川の鵜飼 6

うじがわのうかい

古くから伝わる、夏の風物詩

宇治川の鵜飼では二人の女性鵜匠が活躍し、手綱さばきも鮮やかな匠の技を披露します。

2014年には、日本で初めて人工ふ化でウミウのヒナが誕生し、毎日鵜匠たちが愛情をこめて飼育しています。

夏の夜、鵜匠と鵜が一体となって繰り広げる華麗な世界をお楽しみください。

開催時期：7月～9月



宇治川の鵜飼

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治塔川
TEL：0774-23-3334 (宇治市観光センター)

うみうのウッティーについて

鵜飼は、宇治を含め全国で11ヶ所で行われており、主に茨城県日立市で捕獲された野生のウミウ(海鵜)を飼い慣らして使います。鵜はとても神経質な鳥で、飼育下では産卵することが無いとされていましたが、2014年春、宇治川の鵜たちが初めて卵を産みました。産まれた卵を、ふ卵器という卵を温める機械に入れ人工ふ化を試み、国内で初めて人工ふ化により鵜のヒナが誕生しました。宇治で誕生した鵜達は「うみうのウッティー」と名付けられ「宇治川の鵜飼」で活躍しています。

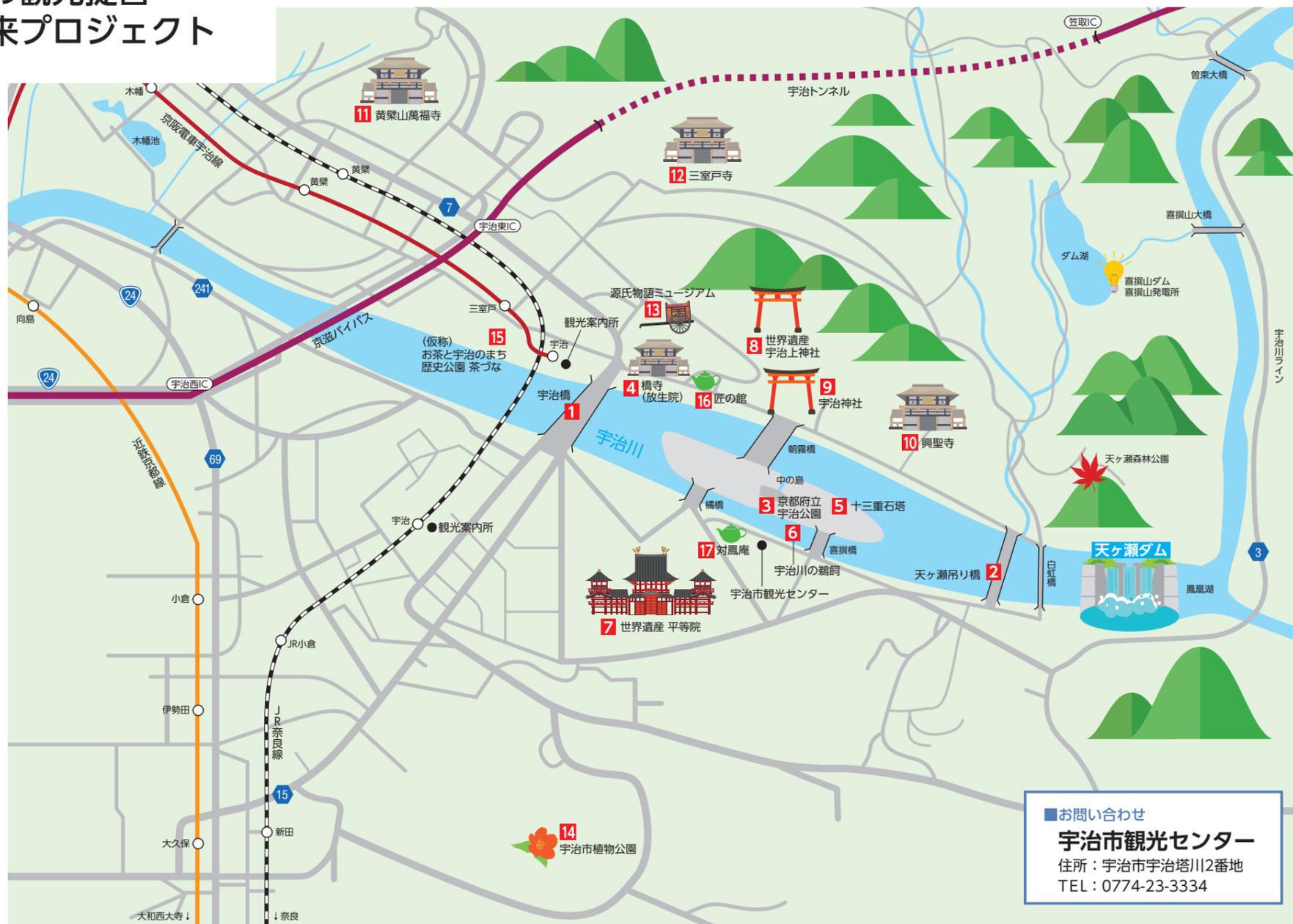


うみうのウッティー

国土交通省インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト
公共インフラを活用した新たな観光資源へ



新しい日本の観光提言
京都観光未来プロジェクト



■お問い合わせ
宇治市観光センター
住所：宇治市宇治塔川2番地
TEL：0774-23-3334



7 平等院（世界遺産）
1052年、藤原頼通によって父道長の別荘を寺院に改め創建されました。鳳凰堂は10円玉のデザインにも選ばれています。
拝観時間：入園8:30～17:15
拝観料：大人600円/小学生300円
☎ 0774-21-2861



8 宇治上神社（世界遺産）
明治時代までは宇治神社と二社一体で「離宮上社」と呼ばれていました。国宝の本殿は現存する日本最古の神社建築です。
拝観時間：9:00～16:30
☎ 0774-21-4634



9 宇治神社
本殿は鎌倉時代のもの。応仁天皇の離跡と伝わり、菟道稚郎子を祭神としています。
拝観時間：境内自由
☎ 0774-21-3041



10 興聖寺
道元禅師が開山し、のち永井尚政が再興しました。山門へと続く「琴坂」は紅葉の名所として知られています。
拝観時間：おおよそ5:00～17:00
拝観料：500円
☎ 0774-21-2040



14 宇治市植物公園
園内の「花と水のタペストリー」は日本を誇る大規模立体花壇。ライブラリーや休憩所、季節に合わせたイベントなども充実しています。
開園時間：9:00～17:00
入園料：大人600円、小・中学生300円
☎ 0774-39-9387



11 黄檗山萬福寺
中国の隠元禅師が創建した禅宗、黄檗宗の本場で、異国情緒の漂うお寺です。中国風精進料理の「普茶料理」も人気です。
拝観時間：9:00～17:00
拝観料：大人500円、小学生300円
☎ 0774-32-3900



12 三室戸寺
西国三十三ヶ所巡礼の十番札所。境内ではつつじ、ハス、アジサイなど四季折々の花をお楽しみいただけます。
拝観時間：8:30～16:00
拝観料：大人500円、小人300円
※時期により変動あり
☎ 0774-21-2067



13 源氏物語ミュージアム
源氏物語「宇治十帖」の世界を分かりやすく紹介する展示や映画を上映。体験コンテンツも多く、平安文化を楽しく学べる施設です。
開館：9:00～17:00 ※月曜休館
入館料：大人600円
小・中学生300円
☎ 0774-39-9300

「お茶のまち」宇治

宇治茶の歴史

宇治茶は鎌倉時代に僧・明恵上人によって宇治に伝えられたと言われています。
室町時代になると宇治に「七茗園」や「七名水」と呼ばれる茶園・湧水が誕生し、織田信長や豊臣秀吉など戦国大名の庇護を受け、お茶の産地として知られるようになりました。
江戸時代には「宇治茶師」（製茶家）が登場し、江戸の徳川将軍家のお茶を献上する「お茶壺道中」が毎年行われるなど、高級茶の産地を確立しました。

宇治茶ができるまで

宇治の茶園は茶摘み前に覆いを施す「覆下（おおいた）」と呼ばれる方法で栽培されています。
この栽培方法は宇治独特のもので、覆いによって日光を遮ることで茶葉の旨味が増すとされています。
また、収穫は今でも手摘みで行われており、一葉一葉丁寧に摘み取られた新芽のみを使って製造される碾茶（てんちゃ）（抹茶の原料）や玉露は高級茶として愛飲されています。

（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな 15

※現段階でのイメージであり、完成時は異なる可能性があります。

おちゃとうじのまちれきしこうえん
ちづな

2021年6月開園を目指している施設。「史跡ゾーン」と「交流ゾーン」があり、「史跡ゾーン」は、復元文化財として遺構の再現や茶摘み体験が行える修景茶園を整備します。「交流ゾーン」は、宇治の歴史・文化や宇治茶の魅力を分かりやすく発信するミュージアムや宇治茶に関する様々な体験ができる施設、レストラン等を整備します。
ミュージアムでは、宇治茶の歴史を伝えることにより、宇治のお茶づくりが日本全国に広まったことを伝え、色や味、香り、成分、効能等、宇治茶の秘密に迫ります。また、宇治のまちの歴史をはじめ、平等院、宇治神社、宇治上神社、宇治橋などの観光名所を名所図会とともに紹介し、来館記念の写真を撮れるフォトスポットも設置予定です。



問い合わせ先 TEL：0774-24-2700

史跡ゾーン

史跡ゾーンでは、史跡宇治川太閤堤跡が築造されてから埋没していく歴史の変遷や護岸の連続性・スケール感を創出し、時間の経過とともに砂洲が形成され、茶園として利用された時代の様子（江戸末期～明治初期）を再現します。

▶「北エリア」（遺構再現展示・広場）
現物遺構の直上に復元文化財として遺構を再現することとし、太閤堤前面の水辺空間と合わせて築堤当時の姿を再現します。

▶「南エリア」（遺構再現展示・修景茶園）
茶園として利用された時代を再現するとともに、茶摘み体験が行える修景茶園として整備します。
また、現代茶園とは異なる歴史的な茶園景観を再現するために、太閤堤の埋没期の姿を再現します。

交流ゾーン

▶空間-1 お茶と宇治のまち交流館（茶づな）

- ・ミュージアム：宇治の歴史・文化や宇治茶の魅力を発信し、周遊観光へとつながる情報を提供します。
- ・体験室：宇治茶に関する様々な体験メニューを提供します。
- ・レストラン・喫茶：三方ガラス張りの開放的で落ち着いた空間での飲食を提供します。
- ・ミュージアムショップ：オリジナルグッズや、地元企業との連携による商品などを販売します。
- ・講座・会議室：200人収容可能な空間を提供します。また災害時は避難所として利用可能です。
- ・展望テラス：宇治川や宇治の山々を一望できる空間を創出します。

▶空間-2 庭園

- ・野点の庭：築山のみどりか折り重なり、奥行き豊かな庭園とし、野点などのイベントができる空間を創出します。

- ・水辺の庭：雨水貯留池を兼ねた庭園、平時は砂利敷きの空間、貯留時には水辺として気候や時間の移ろいを感じる空間を創出します。
- ・木々の庭：四季の変化が感じられる樹種で、みどり豊かな空間を創出します。

▶空間-3 広場

- ・エントランス広場：交流館へと誘うアプローチ空間と隣接する広場との一体利用ができる空間を創出するとともに、臨時駐車場としても利用できます。
- ・茶の祭典広場：広々とした芝生広場と緩やかな曲線の園路により導かれる、魅力あるアプローチ空間や、史跡ゾーンへのアクセスや散策・休憩スペースを創出します。
- ・にぎわい広場：舗装仕上げの広場とし、移動販売車の乗入れ、物販を行うイベントなどが開催できるとともに、3つの広場を一体利用することで、マルシェやフリーマーケット、手作り市などの大きなイベントもできます。

宇治茶道場 匠の館 16 うじちゃどうじょうたくみのやかた

宇治茶の郷で 美味しいお茶の淹れ方を学ぶ

宇治茶を淹れて・飲んで・食べる体験型施設です。

「日本茶インストラクター」が美味しい玉露や抹茶の淹れ方を丁寧に説明します。喫茶に加え、お茶の淹れ方教室やお茶の種類を当てる茶香服（ちゃかぶき）ゲームなどもあります。

営業時間：11:00～17:00

定休日：水曜日、8/14～16、12/29～1/4



宇治茶道場 匠の館
写真提供：(公社)京都府茶業会議所

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治又振17番地1
TEL：0774-23-0888

宇治市営茶室 対鳳庵 17 うじえいちゃつたいほうあん

宇治川のほとりで楽しむ、 優雅なひととき

全国的にも珍しい市営のお茶室で、平等院の鳳凰堂に相對していることから、「対鳳庵」と名付けられました。着物の先生のお点前を見ることができ、お点前体験も可能です。

香り高い宇治茶を、季節の和菓子とともにお召し上がりいただけます。初めての方にも丁寧に教えてくれるので、お気軽にお越しください。

開席期間：1月10日～12月20日

開席時間：10:00～16:00



宇治市営茶室 対鳳庵

問い合わせ先

住所：京都府宇治市宇治塔川
TEL：0774-23-3334（宇治市観光センター）

天ヶ瀬ダム

宇治市内を流れる宇治川は日本最大の湖である琵琶湖から唯一流出する淀川水系*の河川です。

淀川水系：近畿地方の中央部に位置し、琵琶湖から瀬田川、宇治川となって流下し、南からは木津川、北から桂川と合流して淀川本流となり、大阪湾に注ぐ流域面積8,240km²の大水系
天ヶ瀬ダムは宇治川における『洪水を防ぐ』『飲み水を供給する』『電気を作る』の3つの目的を兼ね備えた淀川水系初の多目的ダムとして昭和39年に建設されました。

洪水を防ぐ

天ヶ瀬ダムと瀬田川洗堰の統合操作により、下流域の水位低下を図ります。

- ①大雨による洪水調節が予想された場合、天ヶ瀬ダムはあらかじめダム容量に余裕をつくるため、予備放流を行います。この間、ダムの上流に位置する瀬田川洗堰を閉めて、天ヶ瀬ダムへの水の流入を抑えます。
- ②大雨の襲来時、あらかじめ天ヶ瀬ダムの容量をつくっておいたので、下流の枚方地点の水位に余裕ができるまで、流れ込む雨水をダム湖に貯めることができます。
- ③大雨が通り過ぎた後、洪水調節を行っていた天ヶ瀬ダムと琵琶湖は大量の水が貯まっている状態になります。そのため、天ヶ瀬ダムと瀬田川洗堰はともに放流をはじめ、下流へ少しずつ水を流していくことにより、下流域の洪水を防いでいます。

飲み水を供給する

ダムに溜めた水は宇治浄水場を経て、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町で暮らす約35万人の住民の飲み水として利用されています。

電気を作る

天ヶ瀬発電所では水力発電により約10万人分の電気を発電しています。また、天ヶ瀬ダムの上流にある喜撰山発電所では揚水発電により約50万人分の発電を行っています。

現在、天ヶ瀬ダムでは、宇治川・淀川の洪水調節、琵琶湖周辺の洪水防御、京都府の水道用水の確保及び発電能力の増強を目的として、現在の放流能力を増強するため、天ヶ瀬ダムの左岸側にトンネル式放流設備を設置する「天ヶ瀬ダム再開発事業」に取り組んでいます。

天ヶ瀬ダム本体及び貯水池諸元

河川名	淀川水系淀川(宇治川)
位置	【左岸】宇治市横島町六石山 【右岸】宇治市横島町横尾山
流域面積	琵琶湖流域 3,848km ² (内湖面積680km ²) 天ヶ瀬ダム流域 352km ² 全流域 4,200km ²
型式	ドーム型アーチ式コンクリートダム
堤頂長及び堤高	堤頂長254m、堤高73m
体積	ダム本体121,500m ³ 、副ダム水たき42,500m ³ 計164,000m ³
地質	砂岩、粘板岩
コンジットゲート	3門、放流量1,100m ³ /S(能力)、840m ³ /S(計画最大放流量)
クレストゲート	4門、放流量680m ³ /S(能力)
堰水面積	1.88km ²
平常時最高貯水位	O.P.78.5m
洪水時最高水位	O.P.78.5m
洪水貯留準備水位	O.P.72.0m(6月16日～10月15日)
最低水位	O.P.58.0m
予備放流水位	O.P.58.0m
利用水深	20.5m
総貯水量	26,280,000m ³ (甲子園球場約50杯分)
有効貯水容量	20,000,000m ³

なるほど！天ヶ瀬ダムのこんなこと

Q. なぜ天ヶ瀬ダムは造られたの？

A. 昭和28年に台風13号が襲来し、淀川に未曾有の大洪水をもたらしました。宇治川向島で破堤、沿岸地帯では甚大な被害が発生したことをきっかけに、淀川水系の治水計画が大幅に見直され、淀川水系改修基本計画を昭和29年に策定し、天ヶ瀬ダムを宇治川に設けることとなりました。天ヶ瀬ダムは昭和34年に『洪水を防ぐ』『飲み水を供給する』『電気を作る』の3つの目的で建設に着手し、昭和39年に完成しました。

▶昭和28年の台風13号による、宇治川向島堤の破堤



Q. アーチ式コンクリートダムって？

A. アーチ式コンクリートダムはアーチ式ダムとも呼ばれます。丸みのあるアーチの形状が持つ力学的特性によって水圧の大部分を兩岸の岩盤に伝えることにより、堤体を薄くすることができます。経済的ですが、水圧に耐えられるだけの岩盤強度が必要となります。

Q. 他にはどんな構造のダムがあるの？

A. 重力式コンクリートダムやロックフィルダムなど、構造により様々な種類に分類されます。



▲重力式コンクリートダム(大滝ダム)

▲ロックフィルダム(九頭竜ダム)

Q. 天ヶ瀬ダムには年間どれくらいの観光客が訪れるの？

A. 約2.6万人です。(2020年3月末時点)
(宇治市内には年間約560万人 ※2019年1月～12月集計)



※写真はイメージです。

お問い合わせ先

国土交通省 淀川ダム統合管理事務所
天ヶ瀬ダム管理支所

詳しくはこちら→<http://www.kkr.mlit.go.jp/yodoto/>
〒611-0021 京都府宇治市宇治金井戸15
TEL.0774-22-2188 FAX.0774-24-1705
E-mail.kkr-yododamu@mlit.go.jp



全国のインフラツーリズムの取り組み

国土交通省では、天ヶ瀬ダム以外にも全国のインフラ施設の内部見学や工事現場の見学を、より魅力的にするための先進的な取り組みを展開しています。

詳しくは「インフラツーリズム ポータルサイト」… で

ハッ場ダム

群馬



(写真は建設当時)

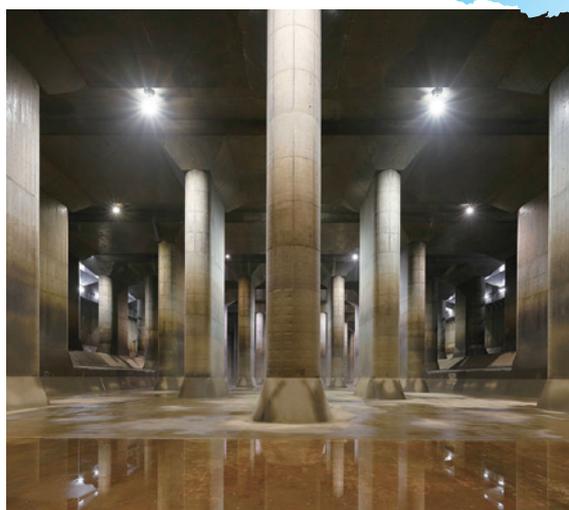
2020年4月から運用を開始した最新のダム。今後水陸両用バス、観光船、カヌーやSUPなどを予定。

(お問い合わせ先)

長野原町役場：0279-82-2244

首都圏外郭放水路

埼玉



巨大な「防災地下神殿」の内部を3つのコースで見学。

(お問い合わせ先)

首都圏外郭放水路見学会受付：048-747-0281

明石海峡大橋

兵庫



本州四国連絡高速道路(株)提供

世界最長の吊り橋を高さ300メートルの主塔の上から体感。

(お問い合わせ先)

ブリッジワールド事務局：078-784-3396

湯西川ダム 水陸両用バス

栃木



窓の無いバスでダム湖へ直接ダイブして遊覧、ダムの内部も見学。

(お問い合わせ先)

湯西川ダックツアー：0288-78-0345